

家畜衛生情報

671号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所 2025.4.10

令和7年度 新スタッフ	1	県畜産関係職員人事異動	5
令和7年度 富山県畜産振興推進方針 ...	2	防疫情報	6
令和7年度 主な畜産関係事業の概要 ...	3	使用基準改正により使用禁止期間に 注意が必要な動物用医薬品.....	6
韓国で2年ぶりに口蹄疫が発生	4	お知らせ	6
BSE 検査手数料の改正について	4		

令和7年度 新スタッフ

新年度を迎え、新しい体制がスタートしました。今年度も家畜伝染病の防疫対応、家畜の生産性向上、畜産物の安全・安心確保、畜産環境保全等に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

東部家畜保健衛生所

	係長	係長	主任	主任	
係長	係長	係長	副主幹	獣医師	副主幹
検査課長	次長	所長	防疫課長	環境課長	



西部家畜保健衛生所

獣医師	主任専門員	主任	係長	
主任	主任	係長	係長	獣医師
検査課長	次長	所長	防疫課長	環境課長



令和7年度 富山県畜産振興推進方針

今年3月、意欲ある担い手が生産拡大や競争力の強化に取り組める経営環境を実現し、富山の美味しい畜産物によって、生産者と消費者が幸せになれる、未来につながる畜産経営を目指して、令和7年度に向けた畜産振興の取組みとなる富山県畜産振興推進方針を策定しました。

今後は、関係機関・団体と協力し、目標達成のために各種施策を総合的に推進します。

1 基本方針

生産基盤の整備や飼養技術の高位平準化、飼料自給率の向上などにより、経営の安定化を図るとともに、県産畜産物のブランド化、消費拡大を推進する。

高病原性鳥インフルエンザ、豚熱などの家畜伝染病防疫対策の強化などにより、発生予防とまん延防止に努める。

地域と調和した畜産経営を推進するとともに、畜産が持つ多面的機能を活用し、耕作放棄地等の有効利用など地域活性化の取組みを進める。

2 主要目標指標

区 分		令和7年度目標	(参考) 令和6年度見込
畜産物の生産量 (t)	生乳	12,200	12,579
	牛肉	650	645
	豚肉	4,000	3,950
	鶏卵	12,000	11,616
飼料自給率 (%) (飼料作物面積等から推定)		28	28
飼料用稲面積 (ha) (県内生産・流通)	飼料用米	590	590
	稲WCS	480	480
	計	1,070	1,070
水田放牧等の面積 (ha)		22.0	22.0

※ 令和7年度産出額の目標値は89億円 (【参考】令和5年度：93億円)

3 重点推進事項

【生産基盤の強化】

- (1) 国の畜産クラスター事業等による施設・機械の整備や公共牧場の活用、畜産スマート技術の導入、暑熱対策等への支援により、生産基盤の維持・拡大を推進。
- (2) 優良種畜(大家畜、豚、受精卵)や性判別精液の導入による家畜の改良増殖を推進。

【経営競争力の強化・新たな担い手の確保】

- (1) 畜産物の価格安定制度の活用や飼料等の価格高騰対策などにより経営安定を支援。
- (2) 「とやま和牛 酒粕育ち」、「とやまポーク」等のブランド力の強化や消費拡大の取組みを推進。
- (3) ㈱富山食肉総合センターでの安全安心な食肉の供給を支援。
- (4) 農場HACCPや畜産GAPの推進、新規就農希望者と遊休施設等のマッチング、法人化による経営継承など新たな担い手等の確保対策を推進。

【地域と調和した経営の推進】

- (1) 飼料用米・稲WCS、子実用とうもろこしの生産・利用の推進、未利用資源の活用による飼料自給率の向上、良質堆肥を活用した耕畜連携による循環型農業を推進。
- (2) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、豚熱ワクチンの接種、野生動物の侵入防止、消毒徹底などの飼養衛生管理対策と防疫資材の確保など体制整備を推進。
- (3) 耕作放棄地等での簡易放牧や蜜源等としての活用を推進。

(農業技術課畜産振興係 沖村主幹)

令和7年度 主な畜産関係事業の概要			予算額 (千円)
家畜改良増殖 対策事業	大家畜牛群改良推進事業	乳用牛及び肉用牛の牛群能力の向上	2,218
	畜産共進会開催事業	県内及び県外で開催される共進会開催費への支援	701
	優良肉豚生産システム化事業	優良な肉豚を生産するために必要な種豚の導入等に対する支援	1,825
	優良牛群整備推進事業	酪農家や肉牛農家で受胎移植技術の活用	5,523
畜産経営向上 対策事業	畜産経営総合指導体制整備強化事業	畜産コンサルタントによる総合支援指導	4,064
	畜産担い手ナビゲート事業	高校生の畜産体験、企業参入支援と情報一元化	461
	畜産環境保全指導事業	畜産環境問題等の発生防止のための総合指導	479
	養豚体制整備事業	国の「養豚経営安定制度」における生産者積立金への助成	9,000
	食肉衛生基盤強化事業	(株)富山食肉総合センターの施設整備、肉畜集荷対策への支援	25,674
飼料生産総合 対策事業	飼料利活用高度化事業	飼料作物の優良品種の選定、飼料・土壌等の成分分析	1,358
	牧場経営安定対策事業	公共牧場へ預託事業等の経費の一部助成、簡易放牧支援等	5,361
	「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業	エコフィードの需給マッチング、「とやま和牛酒粕育ち」のブランド化推進と生産拡大支援	5,250
	飼料生産資材価格高騰緊急支援事業 (R6年度2月補正)(R6繰越事業)	飼料生産に必要な生産資材(種子、燃油等)の価格高騰に対して支援するもの(④400円/10a)	2,600
	新 耕畜連携飼料自給率向上対策事業	県産飼料用稲(稲WCS)の生産・利用に必要な機械の導入に支援	20,000
とやま畜産基 盤強化事業	畜産施設継承円滑化事業	遊休施設の継承に必要となる用地等の調整(測量、地盤調査等)に対する支援	100
	とやまの畜産暑熱対策支援事業	家畜への暑熱ストレスを軽減するための施設改修や機械導入への支援	2,800
安心で美しい郷づくり事業		動物達とのふれあいに係る取組みや蜜源確保等	582
家畜伝染病予防事業		家畜伝染病予防法に基づく検査・指導等	35,157
家畜伝染病防疫体制強化整備事業		消毒機器等の整備、家畜伝染病防疫演習の開催、初動防疫体制の強化、防疫資材の備蓄等	3,822
豚熱ワクチン接種推進事業		豚熱ワクチン接種の推進とモニタリング検査	14,502
野生いのしし家畜伝染病防疫対策事業		野生いのししの豚熱及びアフリカ豚熱検査、アフリカ豚熱の発生を想定した防疫演習の開催等	9,719
畜産物安全性 確保総合対策 事業 (農産食品課)	飼料安全性確保強化指導事業	飼料の安全性確保と適正な使用・管理の指導	1,499
	動物医薬品取締指導	動物用医薬品の取締業務と適正使用の指導	560
	畜産物安全性確保対策事業	家畜衛生管理技術の向上のための指導・調査 豚丹毒ワクチンの接種費用の一部助成	6,979

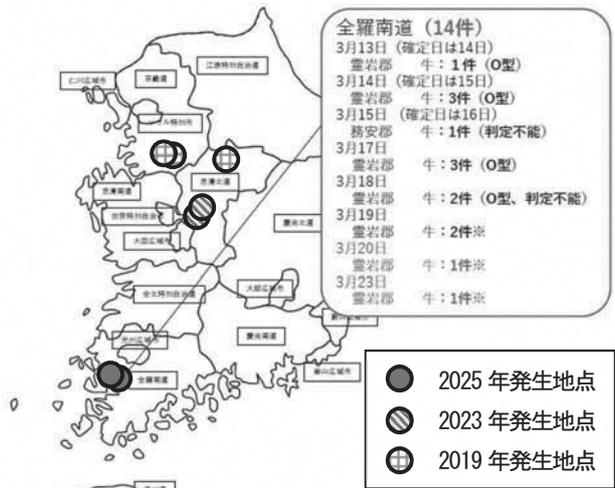
詳細については、農業技術課畜産振興係、農産食品課食品安全係、広域普及指導センター、家畜保健衛生所
にお問い合わせください。
(農業技術課畜産振興係 沖村主幹)

韓国で2年ぶりに口蹄疫が発生

3月13日、韓国の全羅南道靈岩郡の肉牛農場（184頭飼育）で口蹄疫（O型）が発生しました。3月23日現在では14件の発生が確認されています。韓国ではワクチン接種により発生防止対策を講じていましたが、2023年5月以来約2年ぶりの発生となり、感染が再び拡大しています。韓国と日本は地理的に近く人の行き来も多いため、日本に口蹄疫が侵入する危険性が非常に高まっている状況です。

韓国の他にも、アジア地域では中国やインドネシア、カンボジア等で2025年に入ってから口蹄疫の発生が報告されており、農林水産省では水際防疫を徹底して侵入防止に努めているところです。

牛・豚・山羊等の偶蹄類を飼養する農場におかれましては、以下の対策を徹底し口蹄疫の発生予防に努めましょう。



韓国の口蹄疫発生状況

出典：農林水産省HP（一部改変）

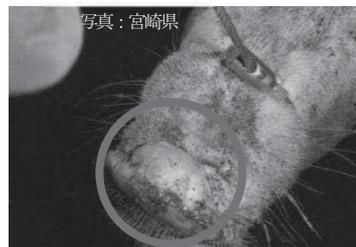
- ・農場の衛生管理区域への**関係者以外の立入を制限**しましょう
- ・農場や畜舎への出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**しましょう
- ・衛生管理区域に持ち込む**物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう
- ・口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控えるとともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう
- ・毎日飼養家畜の健康観察を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに家畜保健衛生所へ通報**しましょう



牛：泡状のよだれ



牛：上顎口唇の潰瘍



豚：鼻端の水疱



豚：蹄のびらん

口蹄疫を疑う症状（出典：農林水産省リーフレット）

（東部家保環境課 宮本課長）

BSE 検査手数料の改正について

現在BSE検査は、令和6年4月1日の農林水産省令改正に基づき、**牛の月齢に関係なくBSEの特定症状を呈して死亡した牛、ダウンナー症候群や乳熱、その他神経症状等でBSEを疑う死亡牛に限って実施**しています。その影響で全国的に検査頭数が大幅に減少し、検査キットの価格が高騰しました。このため、令和7年4月1日からBSE検査手数料を下記のとおり改正（13,300円の引き上げ）いたします。なお、通常の病性鑑定家畜処理手数料については従来どおり変更ありません。

また、本手数料の引き上げに伴い、富山県畜産振興協会で実施しているBSE検査手数料補助の金額についても同額引き上げられるため、補助金を利用される方の負担はこれまでと変わりありません。

	項目	令和7年4月1日～	改正前
BSE 検査手数料	検査済死亡牛を処理（家保で焼却）する場合	51,000円	37,700円
	検査済死亡牛を処理（家保で焼却）しない場合	18,000円	4,700円
畜産振興協会の補助額	BSE 検査費	18,000円	4,700円
	検査促進費	6,000円	6,000円
	検体提供費	6,000円	6,000円
【参考】病性鑑定家畜処理手数料		32,900円	32,900円

（西部家保環境課 稲葉課長）

県畜産関係職員人事異動

4月1日及び3月31日(退職)付けて、以下のとおり県の畜産関係職員が異動しました。(敬称略)

区分	氏名	新所属	旧所属
農林水産部	荻浦 明希子	農林水産部次長(昇任) 参事(市場戦略推進担当)事務取扱	広報・ブランディング推進室長 広報課長事務取扱
	山森 主税	農林水産部次長 参事(基盤整備・園芸産地連携推進担当)事務取扱	農林水産部参事(基盤整備・園芸産地連携推進担当)
	松井 伸彦	農林水産部次長(昇任)	農林水産部参事 森林政策課長事務取扱
	雄川 洋子	農林水産部次長(昇任) 参事(みどりの食料システム戦略担当)事務取扱 兼 厚生部参事	農林水産部参事(みどりの食料システム戦略担当) 兼 厚生部参事
農産食品課	大田 幸夫	農林水産部参事(昇任) 農産食品課長、花総合センター所長事務取扱	農業技術課長
	中村 美翔	主任(昇任)	農産食品課技師
農業技術課	山崎 一浩	課長	農業技術課課長(研究普及・スマート農業振興担当)
	清水 康博	課長(畜産振興担当)	東部家畜保健衛生所次長 指導課長事務取扱
	中村 真貴	副係長	富山農林振興センター係長
	田知 慶久	主任	東部家畜保健衛生所主任 兼 立山博物館
広域普及指導センター	野村 幹雄	所長	新川農林振興センター主幹 農業普及課長事務取扱
	粕谷 健一郎	副主幹普及指導員	西部家畜保健衛生所環境課長
	佐丸 郁雄	主任専門員	農林水産総合技術センター主任専門員
	菱和 誠也	主任専門員	畜産研究所副所長 飼料環境課長事務取扱 兼 環境政策課主幹
農林水産総合技術センター畜産研究所	後藤 利隆	所長	農業技術課課長(畜産振興担当)
	四ツ島 賢二	副所長(昇任) 飼料環境課長事務取扱	畜産研究所酪農肉牛課長
	五箇 大成	酪農肉牛課長	農林水産総合技術センター副主幹研究員
	二川 秀直	副主幹研究員	農業技術課副主幹普及指導員
	南部 愛	副主幹研究員(昇任)	農林水産総合技術センター主任研究員
	台蔵 正司	上席専門員	西部家畜保健衛生所上席専門員
	中島 麻希子	主任専門員	農林水産総合技術センター副主幹研究員
	樋口 愛里	研究員	農業技術課技師
東部家畜保健衛生所	蓮沼 俊哉	次長 指導課長事務取扱	農林水産総合技術センター 企画管理部企画情報課長
	西井 純	防疫課長(昇任) 併 生涯学習・文化財課主幹	東部家畜保健衛生所検査課長
	宮澤 馨	検査課長	東部家畜保健衛生所副主幹
	山口 香菜	係長	東部家畜保健衛生所主任
	柳 直人	係長	東部家畜保健衛生所主任
	岩本 智恵子	係長	東部家畜保健衛生所主任
	槻尾 里佳	係長 併 生涯学習・文化財課副係長 兼 立山博物館	農業技術課副係長
	林 瑞稀	獣医師 併 生涯学習・文化財課技師	新規採用
西部家畜保健衛生所	本多 秀次	次長 指導課長事務取扱	東部家畜保健衛生所防疫課長 併 生涯学習・文化財室主幹
	稲葉 真	環境課長(昇任)	農業技術課副係長
	稲垣 達也	主任専門員	西部家畜保健衛生所次長 指導課長事務取扱
【転出】	吉島 利則	新川農林振興センター所長(昇任)	農産食品課長 兼 花総合センター所長
	齊藤 義晴	高岡農林振興センター次長 兼 企画振興課長	農業技術課広域普及指導センター所長
	清水 雅代	農林水産総合技術センター 農業研究所土壌・環境保全課長	農業技術課副主幹
【退職】	五十嵐 司	退職	農林水産部理事 次長、参事(市場戦略推進担当)事務取扱
	山下 大樹	退職	農林水産部次長
	岡村 造	退職	農林水産総合技術センター畜産研究所長
	上田 博美	退職	農業技術課広域普及指導センター副主幹 普及指導員

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

豚熱（法定伝染病）

（4月4日現在）

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備考
97	3月31日	千葉県旭市	肥育	約5,480頭	
	関連農場	千葉県匝瑳市		約150頭	
	関連農場	千葉県香取市		約50頭	
	関連農場	茨城県茨城町	肥育	約100頭	
	関連農場	茨城県城里町	繁殖	約70頭	
98	4月4日	群馬県前橋市		約6,800頭	

県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛コロナウイルス病と牛パストツレラ（マンヘミア）症	牛	11月7日	1	3	
牛コロナウイルス病	牛	11月7日	1	2	
		3月6日	1	2	
牛伝染性リンパ腫（届出伝染病）と牛パストツレラ症	牛	3月10日	1	1	
牛パストツレラ症	牛	3月15日	1	1	
豚レンサ球菌症と豚トウルエペレラ・ピオゲネス感染症	豚	2月25日	1	1	
豚パストツレラ症	豚	2月27日	1	1	
豚丹毒（届出伝染病）	豚	3月24日	1	1	と畜場発見
鶏クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症と鶏コクシジウム病	鶏	2月25日	1	3	
めん羊の消化管内線虫症	めん羊	2月17日	1	1	
山羊の消化管内線虫症	山羊	3月10日	1	1	

令和6年（2024年）シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況（令和7年3月5日～4月4日）

事例	回収日	場所	種名
120～160 41事例	2月24日 ～ 3月27日	北海道：札幌市、釧路市、根室市、千歳市、 えりも町、広尾町、厚岸町、羅臼町 岩手県：大船渡市、久慈市、釜石市 福島県：福島市、田村市 長野県：長野市	ハシブトガラス、ハシボソガラス、オオハクチョウ、オオタカ、ノスリ、ウミスズメ、エトロフウミスズメ、オオセグロカモメ、マガモ

使用基準改正により使用禁止期間に注意が必要な動物用医薬品

従来の使用禁止期間が短縮された動物用医薬品（下線部が改正部分）

改正日	医薬品	使用対象動物	使用禁止期間 （改正前）	使用禁止期間 （改正後）	製品の名称 （製造販売会社名）
令和7年 2月21日	塩酸セフチオフル を有効成分とする 注射剤	豚	食用に供するた めにと殺する前 3日間	食用に供するた めにと殺する前 <u>1日間</u>	エクセネルRTU （ゾエティス・ジャパン 株式会社）

（東部家保環境課 宮本課長）

☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
北陸三県和牛子牛市場	4月24日	北陸三県家畜市場（金沢市）

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140
編集者 宮本 剛志（富山県東部家畜保健衛生所）
○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

